

館内での  
チケット販売は  
ございません。

# 逝ける映画人を偲んで

## 2019—2020

In Memory of Film Figures We Lost in 2019—2020

2021年

7月20日(火) — 9月5日(日)

会期中の休館日▶▶▶月曜日

\* 新型コロナウイルス感染症への対応のため、定員と上映スケジュールは国立映画アーカイブのHPにてご案内します。会期および前売指定席券の発売日変更等の場合もHPでお知らせします。

\* マスク着用のない方の入館をお断りします。

\* 来館者全員に検温を行います。37.5℃以上の方は入館をお断りします。



国立映画アーカイブ  
National Film Archive of Japan

新型コロナウイルス感染症予防のため

前売指定席券のみ販売します。  
障害者(付添者は原則1名まで)・国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズの方も前売指定席券をお求めください。

国立映画アーカイブ[2階]

長瀬記念ホール OZU

各回の開映後の入場はできません。

前売指定席券(販売期間にご注意ください)

毎週火曜日10:00amより、チケットぴあにて翌週(火~日)上映回の前売指定席券(全席指定席)を販売します(発売日変更などの際はHPで告知します)。

[Pコード:551-490]

前売料金 \*別途手数料がかかります。

一般:520円/高校・大学生・65歳以上:310円/小・中学生:100円/障害者(付添者は原則1名まで)・キャンパスメンバーズ:無料

\*印が付いている作品は成人映画です。小・中学生券はございません。また成人映画上映の際は、女性専用席を設けます。希望される方は「女性専用」と券種名に記載のある券をご選択ください。料金区分は通常の上映回と同じです。

●料金区分の違う前売指定席券では入場できません。差額のお支払いで観覧することはできません。

●学生、65歳以上、障害者、キャンパスメンバーズの方は証明できるものをご提示ください。ご提示のない方は入場できません。

下記に該当する方は購入をお控え願います。

新型コロナウイルス感染症について

- 陽性判定、あるいは医師に自宅待機指示を受けている方
- 検査結果待ち、あるいは体調不良の諸症状がある方
- ご自身の身近に感染の疑いがある方
- 過去14日間以内に、陽性の方と濃厚接触がある方、感染が拡大している国・地域への訪問歴がある方

入場方法

- 前売指定席券は来館前に必ず発券をお願いします。
- 開場は開映30分前です。
- 各回の開映後の入場はできません。

表紙画像:京マチ子  
(写真協力:公益財団法人川喜多記念映画文化財団)

長瀬映像文化財団

国立映画アーカイブは長瀬映像文化財団の支援を受けています。



## 霧の夜の男(86分・35mm・カラー)

やくざの家業を捨てて船員となった青年(高橋)が父親(小沢)にかけられた嫌疑を晴らすため奔走する。高橋英樹がキャリアの初期に主演した日活アクションの一作で、のちのヒットシリーズ「男の紋章」(1963-66)に通じる要素も。高橋、松尾昭典監督とたびたび組んだ萩原が夜霧の埠頭を鮮烈かつ情感豊かに捉えている。

1962(日活)◎萩原◎松尾昭典◎下村明◎星川清司◎中村公彦◎池田正義◎高橋英樹、吉永小百合、小池朝雄、小沢栄太郎、平田大三郎、東野英治郎、安部徹、菅井一郎、森塚敏、杉江弘、藤岡重慶

## 拳銃は俺のパスポート

(84分・35mm・白黒)

穴戸錠が自らの最高傑作に挙げるハードボイルド・アクション。殺しの仕事を終えた上村(穴戸)は海外への逃走を試みるも組織の非情な対決に巻き込まれていく。穴戸は1954年に第1期日活ニューフェイスとしてデビュー。ニヒルな笑いが印象的な悪役として主役を圧倒する存在感を放ち、「エースのジョー」の愛称で日活アクションの黄金時代を支えた。

1967(日活)◎穴戸錠(上村周治)◎野村孝◎藤原審爾◎山田信夫、永原秀一◎峰重義◎松井敏行◎伊部晴美◎小林千登勢、ジェリー・藤尾、武智豊子、内田朝雄、宮部昭夫、佐々木孝丸、嵐寛寿郎

## 花札渡世(92分・35mm・白黒)

梅宮辰夫が自らの代表作に挙げる任侠映画。梅宮の出世作「夜の青春」シリーズ(1965-68)の脚本にも携わった成澤昌茂の脚本、監督のもと、不条理のなかで愛を貫こうとする博徒を情棍に演じて色気を放つ。梅宮は東映第5期ニューフェイスに合格して1959年にデビュー、「不良番長」シリーズ(1968-72)や実録やくざ映画など硬軟両様の役柄で、東映の「不良性感度」路線を担った。

1967(東映東京)◎梅宮辰夫(北川竜一)◎成澤昌茂◎飯村雅彦◎森幹男◎渡辺岳夫◎鵜淵晴子、伴淳三郎、遠藤辰雄、小林千登勢、安部徹、西村晃、沢村貞子、城野ゆき、浦辺条子

## ケメ子の唄(84分・35mm・白黒)

ザ・ジャイアンツの同名ヒット曲に想を得た歌謡映画。ダンス好きの少女ケメ子(小山)が、ふとしたきっかけから足を踏み入れた芸能界と恋人(竹脇)との間で揺れ動いていく。この作品で監督デビューを果たした田中康義は、『ブローアップ ヒデキ BLOW UP! HIDEKI』(1975)など数本を監督したのち、主にプロデューサーとして活躍。助監督を務めた小津安二郎の関連資料や松竹社史の編纂も手がけた。

1968(松竹大船)◎田中康義◎中原竜太◎高橋三三、植村信吉、田向正健◎堂脇博◎横山豊◎山本直純◎小山ルミ、竹脇無我、谷幹一、川崎敬三、ザ・ジャイアンツ、葺かおる、根岸明美、十朱久雄



拳銃は俺のパスポート

## 濡れ牡丹 五悪人暴行篇\*

(74分・35mm・パートカラー)

梅沢薫=大和屋竺(名義は日野洗)の監督脚本コンビ第3作で、裏切りと陰謀が悪夢のように連鎖する殺し屋映画の知られざる傑作。大和屋は主人公クロも演じている。登場する殺し屋たちは皆強烈な印象を残すが、女の匂いに執着する通称「坊や」を演じた港雄一と、アウトローの凄みと悲哀を体現した日野役の山本昌平がとりわけ光っている。

1970(国映)◎山本昌平(日野)、港雄一(坊や)◎梅沢薫◎日野洗◎久我剛◎木村新弥◎大和屋竺、真湖道代、加奈沢史郎、モウ・コバヤシ、相原香織、伊東真奈美、城浩、鏡勲平、津崎公平

## 影の車(98分・35mm・カラー)

未亡人(岩下)と深い関係になった既婚の会社員(加藤)は、彼女の息子の存在により自身の過去を想起するが…。川又昂は、1945年に松竹に入社し小津安二郎作品の助手を経て1959年に一本立ち、『青春残酷物語』(1960、大島渚)、『砂の器』(1974、野村芳太郎)、『黒い雨』(1989、今村昌平)などで腕を振るった。本作では、色彩処理によって幼年期の幻想を妖美な映像で表現している。

1970(松竹大船)◎川又昂◎野村芳太郎◎松本清張◎橋本忍◎重田重盛◎芥川也寸志◎加藤剛、岩下志麻、岡本久人、小川真由美、芦田伸介

## どですかでん(140分・35mm・カラー)

黒澤明、木下恵介、小林正樹、市川崑が結成した「四騎の会」の第1作。毎日空想の電車を走らせる六ちゃん(頭師)と貧民街の様々な人間模様を鮮やかな色彩を用いて幻想的に描いた黒澤初のカラー作品。イタリア留学中に黒澤と知り合った松江陽一は帰国後、『隠し砦の三悪人』(1958)などに助監督として参加。本作と同様に製作を務めた『デルス・ウザーラ』(1975)はアカデミー賞外国語映画賞を受賞した。

1970(四騎の会=東宝)◎製作◎松江陽一◎監製◎黒澤明◎山本周五郎◎小国英雄、橋本忍◎斉藤孝雄、福澤康道◎木村木与四郎、村木忍◎武満徹◎頭師佳孝、菅井きん、殿村敏之、三波伸介、楠侑子、伴淳三郎

## 仁義なき戦い(99分・35mm・カラー)

任侠映画から「実録」路線への転換点となった大ヒット作で、シリーズ化された。日下部五郎は発案時から企画に携わり、脚本を依頼した笠原和夫の「今までとは全く違うホンを」という意気込みに応じて現地取材に同行し、配役は若手中心とした。志賀勝は麻薬中毒者役に凄味を発揮、野口貴史は広能(菅原)の忠実な子分・若見を第4作まで演じた。雑踏でのリアルなアクションを指導した上野隆三は、時代劇を中心に170本以上の映画や、その他TVドラマも多く手がけた。

1973(東映京都)◎監日下部五郎◎上野隆三◎梅宮辰夫(若杉寛)、野口貴史(若見益夫)、志賀勝(横川信夫)◎深作欣二◎後藤浩滋◎飯干晃一◎笠原和夫◎吉田貞次◎鈴木孝俊◎津島利章◎菅原文太、松方弘樹、金子信雄、川地民夫、田中邦衛、三上真一郎◎小池朝雄



花札渡世

## 実録 私設銀座警察(94分・35mm・カラー)

終戦直後の銀座を舞台に、退役兵らによって結成された「私設銀座警察」が苛烈な暴力の渦のなかで裏社会の顔役に成り上がっていく。東映東京企画部で「不良番長」シリーズなどを手がけたプロデューサー吉田達彦の企画のもと、佐藤純彌が「戦後、日本が新生していく生みの苦しみの中から派生していく悪夢のような混沌を、蓋をせずに描いてみた」と語るカルト的傑作。

1973(東映東京)◎監吉田達彦◎佐藤純彌◎梅宮辰夫(樋口勝)◎神波史男、松田寛夫◎仲沢半次郎◎北川弘◎日暮雅信◎安藤昇、渡瀬恒彦、藤浩子、中村英子、郷鍬治、室田日出男、近藤宏、内田朝雄、待田京介、葉山良二

## 日本妖怪伝 サトリ(99分・35mm・カラー)

人心を讀む民話の妖怪「サトリ」を題材に、都市に生きたる人間たちの孤独の風景を前衛的に描き出した異色作。寺山修司率いる劇団天井棧敷の舞台への客演など、60-70年代のアンガ全盛期に存在感を示した山谷初男が、その個性をいかんなく発揮。さすらいの時代の青年像を体現した河原崎次郎も印象深い演技を見せている。

1973(青林舎)◎山谷初男(サトリ)、河原崎次郎(ものくさ太郎)、織本順吉(大男)、原口剛(赤白の羽根売り)◎東陽一◎前田勝弘◎田村正毅◎下河原香雄、手塚研一◎緑魔子、佐藤慶、吉行和子、渡辺文雄

## ねむの木の子(88分・35mm・カラー)

宮城まり子が、自ら設立した肢体不自由児のための養護施設「ねむの木学園」の子どもたちを記録した初監督作品。生命力にあふれた子どもたちの姿が、宮城自身の愛情に満ちた音楽や語りによって、美しく描かれる。岡崎宏三のダイナミックなカメラも素晴らしい。宮城による「ねむの木学園」シリーズ(1974-86)はこの後3作が撮られ、国内外で高い評価を得た。

1974◎製作◎宮城まり子◎岡崎宏三◎奥山重之助◎編劇◎諏訪三男◎ねむの木学園の子供たち、ねむの木学園の教職員

## わたしのSEX白書 絶頂度\*

(71分・35mm・カラー)

やくざ(益富)から猥褻な写真を受け取ったことから、病院の採血係(三井)が性に目覚め自らを愛容させていくさまを描いたロマンポルノ。日活で助監督を経てプロデューサーとして活躍した伊地智啓の代表作。伊地智は本作の翌77年に日活を退社し、キティ・フィルム設立に参加して相米慎二作品を世に送り出すなど、ポスト撮影所期の重要作を数多く製作した。

1976(日活)◎伊地智◎曾根中生◎白鳥あかね◎萩原憲治◎坂口武玄◎コスモス・ファクトリー◎三井マリヤ、芹明香、益富信孝、村國守平、神保ゆずる、梓ようこ、桑山正一、影山英俊、花上晃、五條博



『ねむの木の子』撮影中の宮城まり子監督(左から2人目)。カメラを覗いているのは岡崎宏三。



## 戦争と青春(109分・35mm・カラー/白黒)

今井正の最後の作品。現代の高校生(工藤)が夏休みの課題に取り組むうちに、東京大空襲時に伯母(奈良岡)の松に起こった悲劇を知っていく。空襲場面の壮大なオープンセットを実現した美術の春木章と、爆音と叫びが入り混じる喧噪を再現した録音の本田政は、共に独立系映画を中心に活躍、後進の育成にも力を注いだ。

1991(こぶしプロ=プロデュースセンター=「戦争と青春」製作委員会)製作◎本島大津豊◎春木章◎録音◎本田政◎今井正◎製作◎岡村光雄◎早乙女勝元◎岡崎宏三◎佐藤勝◎工藤夕貴、佐野圭亮、井川比佐志、奈良岡朋子、松村達雄、藤田弓子、河原崎長一郎、樹木希林

## 映像評伝 仁科芳雄 現代物理学の父

(97分・16mm・カラー)

戦争の時代を科学者として生き抜き、多くの優れた研究者を育てた仁科芳雄の平坦ならざる生涯を描く。野崎健輔は、中日映画でニュース映画を企画演出し、1975年からフリーに。太宰府天満宮の祭を記録した『鬼すべ』(1983)といった祭祀の記録や、炭鉱労働や大規模工事の記録映画を中心に高い評価を得た。

1991(企画:岡山県庄町、科学振興仁科財団/制作:山陽映画)◎◎野崎健輔◎三澤敏之、西川浩史、宇野竜治、坪山武浩◎城戸邦男◎生野文治

伝説工芸技術記録映画シリーズ-28-

## 読谷山花織—與那嶺貞のわざ—

(31分・35mm・カラー)

1966年のイザイホーの記録や農協の活動記録などを通じて、野村岳也は父親の戦死の地でもある沖縄の人々の生活や想いを取材しつづけた。本作では、80年余途絶えていた幻の織物「読谷山花織」の復元に取り組んだ與那嶺貞のわざを記録している。

2000(企画:文化庁/製作:シネマ沖縄)◎◎野村岳也◎與那嶺貞◎長沢勝俊◎国井雅比古

## ありふれた愛に関する調査

(107分・35mm・カラー)

ハードボイルド小説を原作に、しがない中年探偵(奥田)の不甲斐ない日々を描いて哀愁を漂わせる。小林壽夫は録音助手を経験後、日活出身の山田耕大が立ち上げた企画製作会社メリエスに参加。『私をスキーに連れてって』(1987、馬場康夫)のライン・プロデューサーを皮切りに『僕らはみんな生きている』(1993、滝田洋二郎)、『シャ乱Qの演歌の花道』(1997、滝田洋二郎)などを製作した。

1992(メリエス=サントリー)製作◎小林壽夫◎榎戸耕史◎関川夏央◎荒井晴彦◎野田昌男◎小川富美夫◎梅林茂◎奥田英二◎世良公則、池田昌子、小林かおり、津川雅彦、すまけい、川地民夫

## 岸和田少年愚連隊(106分・35mm・カラー)

1975年の岸和田を舞台に、ケンカに明け暮れる中学生たちを描く。本作で録音技師として一本立ちした鈴木肇は、大阪弁の抑揚を生き生きと活かし、乱闘シーンでは細やかな音声描写を行なった。鈴木は松竹にて『釣りバカ日誌』シリーズ第16-22作(2003-09、朝原雄三)、『こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話』(2018、前田哲)などを担当、「映像に合った自然に感じる音」を目指した。

1996(松竹=吉本興業)録音◎鈴木肇◎スタジオ多良政◎志賀勝(岩田)、笑福亭松之助(喜一)、山田スミ子(古参のウェイトレス)◎井筒和幸◎中場利一◎鄭義信、我妻正義◎浜田毅◎細石照美◎藤野浩一◎矢部浩之、岡村隆史



ピー・ハップ・ハイスクール 高校与太郎行進曲

## 鉄道員(112分・35mm・カラー)

浅田次郎の直木賞受賞作の映画化。雪深いローカル線終着駅を守り続けてきた鉄道員の奇跡のような最期の目々が抒情的に描かれる。「新網走番外地」シリーズ(1968-72)などで東映任侠路線の一翼を担った降旗康男は『地獄の掟に明日はない』(1966)で初めて高倉健とコンビを組み、東映退社後も『駅STATION』(1981)などを監督して、寡黙で実直な健さんのイメージを確立した。坂上順は1962年に東映に入社後、『新幹線大爆破』(1975、佐藤純彌)などの話題作を手がけ、本作で製作者に贈られる「藤本賞」を受賞した。

1999(「鉄道員」製作委員会)◎◎降旗康男◎企画◎坂上順◎監督◎佐々部清◎志村けん(吉岡肇)◎◎神村謙二、御厨敏雄、後藤広喜◎浅田次郎◎岩間芳樹◎木村大作◎福澤勝◎国吉良一◎高倉健、大竹しのぶ、広末涼子、小林稔侍、田中好子

## チルソクの夏(114分・35mm・カラー)

1977年、釜山で開かれた親善陸上競技大会に出場した郁子(水谷)は韓国の少年(鈴木)に出会い、垣根を乗り越えて愛を育んでいく。佐々部清は、故郷・下関市を舞台に、陸上選手だった妹の経験談や父親の思い出を織り込んで郷愁漂う青春映画に仕上げた。地元根を下ろし、地道に生きていく人々の触れ合いを通じて人間を描き続けた佐々部の方向性が示された監督第2作。

2003(「チルソクの夏」製作委員会)◎◎佐々部清◎坂江正明◎若松孝子◎加羽沢美濃◎水谷妃里、上野樹里、桂亜沙美、三村恭代、鈴木淳評

## スパイ・ゾルゲ(183分・35mm・カラー)

篠田正浩が長年温めた企画で、海外ロケも行った歴史大作。ゾルゲ(グレン)と尾崎秀実(本木)の協力関係を軸に、国際平和を求める2人の理想と挫折が綴られる。平成「ガメラ」シリーズ(1995-99)などの美術で知られる及川一は、2人が取り調べを受ける拘置所で重厚で静謐なアールデコ調に造形した。多良政司は1970年代から東宝のスタジオ録音に従事し、ハードとソフト両面において映画音響の発展に貢献した。

2003(「スパイ・ゾルゲ」製作委員会)◎◎及川一◎スタジオエンジヤ◎多良政司◎原口剛(本庄繁)◎◎篠田正浩◎ロバート・マンディ◎鈴木達夫◎陳紹勉、アネット・ロフィ◎池辺晋一郎◎イアン・グレン、本木雅弘、椎名桔平、上川隆也、葉月里緒菜、小雪、夏川結衣、永澤俊矢、若下志麻

## わらびのこう 藤野行

(125分・35mm・カラー)

村の掟に従い、60歳を迎えて近隣の丘に棄てられた老人たちの原作を通じて、生と死を問いただした作品。村田喜代子の原作に忠実に、姑(市原)と嫁(清水)が互いに語りかけながら進行する構成が秀逸で、とりわけ市原悦子の滋味にあふれた語りや、映画に深い奥行きを与えている。舞台やTVなど多方面で活躍した女優市原にとって、本作は映画初主演作。紛れもない代表作となった。

2003(日本の原風景を映像で考える会=タイムズイン)スタジオエンジヤ◎多良政司◎市原悦子(レン)、原知佐子(チヤ)◎恩地日出夫◎村田喜代子◎渡辺寿◎上田正治◎斎藤岩男◎猿谷紀郎◎清水美那、石橋蓮司、中原ひとみ、李麗仙



鉄道員 © 1999「鉄道員(ぼっぼや)」製作委員会

## ユキとニナ

(93分・35mm・カラー・日本語字幕付)

Yuki &amp; Nina

9歳の少女ユキ(サンビ)は離婚を決めた両親のよりを戻そうと親友のニナ(ムーテル)と家出を決行する。迷い込んだ森で一人になったユキは新しい世界へ足を踏み入れるのだが…。吉武美知子はフランスの新鋭監督をいち早く日本に紹介したほか、『ダゲレオタイプの女』(2016、黒沢清)、『ライオンは今夜死ぬ』(2017、諏訪敦彦)などの合作映画のプロデュースに携わり、日仏を映画でつないだ。

2009(コム・テ・シネマ=レ・フィルム・デュ・ランドマン=アルテ・フランス・シネマ=ビターズ・エンド)スタジオエンジヤ◎吉武美知子◎◎諏訪敦彦◎◎イボリット・ジラルド◎ジョゼ・デエー◎エマニュエル・ド・ショヴィニ、ヴェロニク・ベルネウ、鈴木千奈◎フォーレン・オフィス◎ノエ・サンビ、アリエル・ムーテル、ツユ、マリリーヌ・カント

## 共喰い(102分・DCP・カラー)

田中慎弥の芥川賞受賞小説を映画化。昭和末期の下関を舞台に、暴力的な性癖を持つ父親(光石)を軽蔑しながら、やがて自身のなかの暴力性に気づき苦悩する少年(菅田)の姿を描く。獅子プロダクションを経てフリーの照明技師となった松本憲人は、近年も青山真治の『空に住む』(2020)などを担当。撮影の今井孝博とは行定勲監督でもコンビを組み、独特の空気感漂う映像を紡ぎ出した。

2013(「共喰い」製作委員会)◎◎松本憲人◎◎◎青山真治◎田中慎弥◎荒井晴彦◎今井孝博◎清水剛◎菅田池信之◎山田勲◎菅田将暉、木下美咲、篠原友希子、光石研、田中裕子、岸部一徳

## シャルロット すさび

(176分・DCP・白黒/カラー・日本語字幕付)

1970年代からヨーロッパを中心に舞踏家として活動し、自主映画作家としても7本の作品を監督した岩名雅記の最後の長篇作品。岩名自身を投影したパフォーマー(成田)が、死んだ前妻やパリで出会った女性など、時空を超えた人々との交流を通じて、自らの内面と世界の様相を見つめていく。

2017(Solitary Body)◎◎◎岩名雅記◎高橋哲也◎藤枝蓮◎平石博一◎クララエレナ・クーダ、成田護、大澤由理、高橋恭子、岡崎弘、鈴木あい、ムッシュ・テ、クザマ・レダ、蓮尾卓美



ユキとニナ

© Yoshi OMORI



シャルロット すさび

© La Maison du Butoh Blanc・Solitary Body

## 京マチ子(1924-2019)

大阪市生まれ。大阪松竹歌劇団を経て、1949年、大映にスカウトされ入社。同年、『痴人の愛』(木村恵吾)のナオミ役で従来の日本映画にはない大胆な女性像を見せて注目を集め、以後、戦後を代表する女優として活躍する。『羅生門』(1950、黒澤明)以降は国際的にも人気を誇った。最後の映画出演作は『化粧』(1984、池広一夫)。

## 森崎東(1927-2020)

長崎県島原市生まれ。1956年に松竹京都撮影所に入社し、65年に大船撮影所に移籍。野村芳太郎監督らの作品で助監督を務めた後、69年『喜劇 女は度胸』で監督デビュー。74年にフリーとなる。社会の表舞台に現れない人々の怒りと鬱屈に焦点を当てた喜劇ならぬ「怒劇」をつくり続けた。

### 45

#### 牝犬(100分・35mm・白黒)

京マチ子が『痴人の愛』、『浅草の肌』(1950)に続いて木村恵吾とコンビを組んだ作品で、肉体派ヴァンプ女優としての一つの到達点を示した。京は謹厳実直な会社員・堀江(志村)を堕落させる踊り子エミーを演じる。自らの欲望に忠実に行動し、自分になびかないサクセス吹きの白川(根上)を何度も誘い、心を奪おうとするエミーの姿は、敗戦後の日本が渴望した人間像でもあった。

1951(大映東京) ④京マチ子(エミー) ⑤木村恵吾 ⑥成澤昌茂 ⑦山崎安一郎 ⑧柴田篤二 ⑨飯田三郎 ⑩志村喬、根上淳、久我美子、利根はる恵、加東大介、北林谷榮、藤原釜足、宮原恭子

### 47

#### 大阪の女(104分・35mm・カラー)

八住利雄の連続TVドラマ「女神誕生」(1957)の映画化。大阪出身の京の持ち味を生かすために企画された。夫に先立たれたお千(京)は流しの芸人・米太郎(船越)と再婚するが、幸せな日々も長く続かない。京いわく『道』(1954、フェデリコ・フェリーニ)のジェルソミーナを連想させるお千が、不運に見舞われながらも無垢な心を失わず生き抜いていく姿が軽やかなタッチで描かれ、胸をふるわせる。

1958(大映東京) ④京マチ子(お千) ⑤衣笠貞之助 ⑥八住利雄 ⑦相良津 ⑧渡邊公夫 ⑨柴田篤二 ⑩齋藤一郎 ⑪船越英二、小野道子、高松英郎、角梨枝子、中村鷹治郎、山茶花究、丹阿彌谷津子、小夜福子、賀原夏子

### 49

#### 野良犬(104分・35mm・カラー)

黒澤明の名作(1949)をリメイク。拳銃を盗まれた若い刑事(渡)がベテラン刑事(芦田)とともに犯人を追いつけていく、という大筋は同じだが、舞台を沖縄人コミュニティが根づく鶴見・川崎の工業地帯に移し、犯人を沖縄から集団就職でやって来た若者グループに変更することで、沖縄と本土の戦後史について考察を促す作品に仕上げている。

1973(松竹大船) ④森崎東 ⑤渡哲也(村上) ⑥黒澤明、菊島隆三 ⑦一色肇 ⑧吉川憲一 ⑨佐藤之後 ⑩佐藤勝 ⑪芦田伸介、松坂慶子、志垣太郎、田中邦衛、財津一郎、中丸忠雄、緑魔子、中島真智子、赤木春恵

### 46

#### 雨月物語(97分・35mm・白黒)

戦国の世、金と出世欲に取り憑かれた男たちが妻を失うさまを描き、ヴェネツィア国際映画祭銀獅子賞を受賞した、溝口健二の代表作の一つ。京は近江の城下に焼物を売りに来た源十郎(森)を誘う姫君を妖しくも優美に演じる。『羅生門』、本作、そして『地獄門』(1953、衣笠貞之助)と、海外映画祭受賞作に続けて出演した京は、「グランプリ女優」と形容されることになる。

1953(大映京都) ④京マチ子(若狭) ⑤溝口健二 ⑥上田秋成 ⑦川口松太郎、依田義賢 ⑧宮川一夫 ⑨伊藤薫 ⑩早坂文雄 ⑪森雅之、田中絹代、小澤榮、水戸光子、毛利菊枝、羅門光三郎、香川良介、上田吉二郎

### 48

#### 濡れ髪牡丹(89分・35mm・カラー)

3千人の子分を持つ清見瀧のおもん(京)は、跡目を兼ねた婿探しを始める。候補者たちが押し寄せるも厳しいテストに次々と脱落、そこに手ごわい風来坊・瓢太郎(市川)があらわれる。京は威勢よくたなかを切り、立ち回りを演じるなど、貫禄と色気をまとった女親分に扮し、市川雷蔵との軽妙な掛け合いを披露する。

1961(大映京都) ④京マチ子(清見瀧のおもん) ⑤田中徳三 ⑥八尋不二 ⑦相坂操一 ⑧内藤昭 ⑨塚原哲夫 ⑩市川雷蔵、小林勝彦、小桜純子、大辻恒郎、井上明子、安部徹

### 50

#### 黒木太郎の愛と冒険

(110分・35mm・白黒)

気弱だが冒険好きなスタントマン黒木太郎(田中)を中心に、彼の家族や友人、8mm映画を製作する若者たちの姿を描いた群像劇。森崎喜劇の常連である田中邦衛の主演を前提に企画された。森崎にとっては初めてATGで撮った作品でもあり、自決した兄への思いをにじませるなど個人的な情念が前面に押し出されている。

1977(馬道プロ=ATG) ④森崎東 ⑤野呂重雄 ⑥村上雅彦 ⑦田口和雄 ⑧佐藤勝 ⑨田中邦衛、倍賞美津子、清川虹子、財津一郎、小沢昭一、緑魔子、殿山泰司、岡本喜八、沖山秀子、伊藤裕一、三國連太郎、伴淳三郎



牝犬



雨月物語



大阪の女



濡れ髪牡丹



野良犬



黒木太郎の愛と冒険

**大林宣彦**(1938-2020)

広島県尾道市生まれ。幼少期よりフィルムと戯れ、大学在学中より個人映画を発表。TVCFの監督としても一時代を築く。1977年『HOUSE』で商業映画デビュー。『転校生』(1982)に始まる「尾道三部作」や、厭戦のメッセージを前面に押し出した晩年の諸作品などで独自の映画観を示し続けた。

**51**

**日本殉情伝 おかしなふたり  
ものくるほしきひとびとの群**  
(105分・35mm・カラー)

大林が自身の故郷・尾道を舞台に撮った小品で、完成から1年以上経ってようやく公開された。発明好きの青年(竹内)と金貸し(三浦)を中心に、夕子(南)という女性をめぐる「ものくるほしき」男たちの姿を描く。デビュー以来のトレードマークであった「A MOVIE」がこれを最後にいったん外されるなど、大林映画の転換点となった重要な一作。

1988(フィルムリンク・インターナショナル)◎◎編劇大林宣彦◎◎長野重一◎◎やまざき十三、さだやす圭◎◎剣持巨、小倉洋二◎◎藤谷和夫◎◎KAN◎◎竹内力、三浦友和、永島敏行、南果歩、正力愛子

**52**

**ふたり**(150分・35mm・カラー)

赤川次郎の同名小説の映画化で、「新・尾道三部作」の第1作となった。姉の千津子(中嶋)を事故で亡くした少女・実加(石田)が、姉の幽霊に見守られながら成長していく。脚本は、大林の商業映画デビュー作『HOUSE』以来たびたびコンビを組んだ桂千穂。『おかしなふたり』同様、大林とはCF時代から縁のある写真家の長野重一が撮影を手がけた。

1991(ギャラクシーピー・エス・シー=NHKエンタープライズ)◎◎編劇作劇大林宣彦◎◎桂千穂◎◎長野重一◎◎赤川次郎◎◎藤谷和夫◎◎久石譲◎◎石田ひかり、中嶋朋子、尾美としのり、岸部一徳、富司純子



日本殉情伝 おかしなふたり ものくるほしきひとびとの群



愛と死の記録

**渡哲也**(1941-2020)

島根県能義郡安来町(現・安来市)生まれ。1964年に日活撮影所に入社し、翌年『あばれ騎士道』(小杉勇)でデビュー。「無頼」シリーズ(1968-69)などに主演し日活ニューアクションを牽引。1971年には石原プロモーションに入社。以降も、映画やTVドラマで、スターとしての存在感ある演技で魅了し、長きにわたり幅広い年代から支持された。

**53**

**愛と死の記録**(92分・35mm・白黒)

印刷工場に勤める幸雄(渡)は、友人のいたずらにきっかけに、レコード店で働く和江(吉永)と恋に落ちるが…。蔵原惟繕や吉永小百合らとともに徹底的にリハーサルを繰り返し、原爆症に苦しむ青年を演じた渡は、ブルーリボン賞新人賞を受賞。渡は本作を共同作業としての映画作りの充実感を感じた最初の作品に挙げている。

1966(日活)◎◎渡哲也◎◎(三原幸雄)◎◎蔵原惟繕◎◎大橋喜一、小林吉男◎◎姫田真久◎◎大鶴泰弘◎◎黛敏郎◎◎吉永小百合、佐野浅夫、滝沢修、芦川いずみ、浜川智子、中尾彬

**54**

**紅の流れ星**(97分・35mm・カラー)

『赤い波止場』(1958、舛田利雄)のリメイク。石原裕次郎が演じた主役を渡らしく軽快に、愛おしさたっぷりに演じる。東京で事件を起こして神戸の組織にかくまわれ、暇をもてあましている五郎(渡)は、行方不明の婚約者を探しに来た啓子(浅丘)と出会う。帽子を深くかぶった渡が見せるダンスシーンは必見のかっこよさ。

1967(日活)◎◎渡哲也◎◎(五郎)◎◎穴戸錠◎◎(沢井)◎◎舛田利雄◎◎池上金男◎◎高村倉太郎◎◎木村威夫◎◎鍋木創◎◎浅丘ルリ子、杉良太郎、藤竜也、山田禅二、奥村チヨ、松尾嘉代

**55**

**前科・仮釈放**(86分・35mm・カラー)

石原裕次郎など日活の1世代上のスターと異なり、渡は泥臭いアクションや軽薄なキャラクターで魅せた。本作で渡は、歯医者者の史江(松原)に強引な好意を寄せるやくざ・竜次を演じる。竜次が復讐を遂げる終盤の格闘シーンは、バス停留場などの整備が進んだ新宿西口が舞台となり、新時代に取り残されながらも、変わらず生きるやくざの姿を浮き彫りにしている。

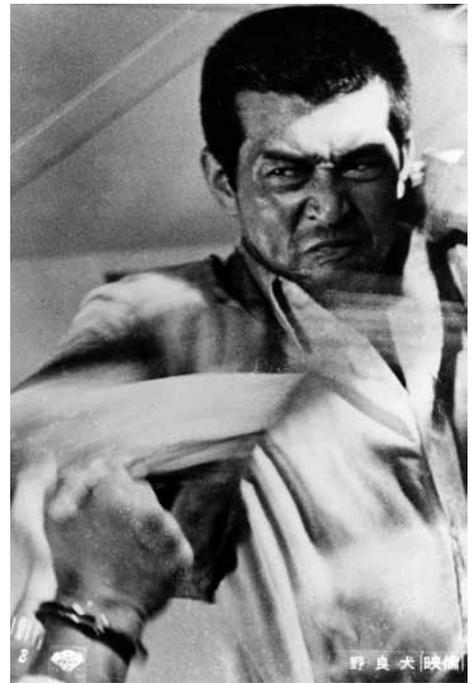
1969(日活)◎◎渡哲也◎◎(大原竜次)◎◎小澤啓一◎◎池上金男◎◎高村倉太郎◎◎川原資三◎◎鍋木創◎◎松原智恵子、沖雅也、内田稔、青木義朗、今井健二、長内美那子、大木実、杉本エマ



紅の流れ星



前科・仮釈放



野良犬

**前売指定席券販売期間変更にご注意ください!**  
毎週火曜日10:00amより翌週(火~日)の上映回  
のチケットをチケットぴあにて販売します。  
上映スケジュールはHPをご覧ください。

\*上映スケジュールは国立映画アーカイブHPをご覧ください。



『チルソクの夏』撮影中の佐々部清監督  
© 2003 チルソクの夏製作委員会



わらびのこう 蕨野行



共喰い © 田中慎弥/集英社・2013『共喰い』製作委員会

## 展示室(7階)

### 【企画展】

#### 創刊75周年記念 SCREENを飾ったハリウッド・ スターたち

Hollywood Stars in SCREEN Magazine:  
Commemorating its 75th Anniversary

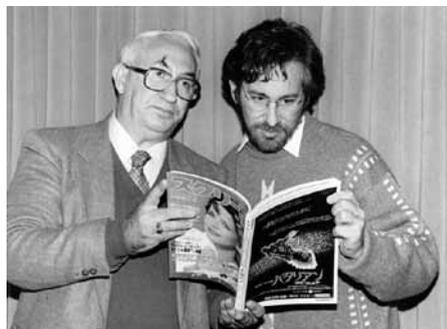
2021年4月13日(火)–8月1日(日)

\* 月曜日および5月25日(火)–28日(金)、7月6日(火)–7日(水)は休室です。

主催:国立映画アーカイブ、近代映画社

外国映画の最新情報を日本に届け続けている近代映画社の月刊誌「SCREEN」は、2021年に創刊75周年を迎えます。ハリウッドでの現地取材にこだわってきた同誌が独自に撮影した華やかなスター・フォトを展示するとともに、独自取材を担ってきたハリウッド通信員たちの活動にも触れます。

\* 詳細は当該チラシまたは国立映画アーカイブのホームページをご覧ください。



スティーブン・スピルバーグ[右]とハリウッド通信員ヤノ・ユキガキス[左](1986年頃) © Kindaiegasha

### 【企画展】

#### 生誕120年 円谷英二展

Eiji Tsuburaya: at his 120 years Celebration

2021年8月17日(火)–11月23日(火・祝)

\* 月曜日および9月7日(火)–10日(金)、9月26日(日)–10月3日(日)、10月12日(火)–15日(金)は休室です。

主催:国立映画アーカイブ、須賀川市

特別協力:円谷プロダクション

特撮技術を切り拓いて東宝の戦争映画・怪獣映画・SF映画を支え、後に自ら円谷プロダクションを興してテレビにおける特撮の礎を築いた円谷英二(1901–1970)。その生誕120年を記念し、特撮に取り組む以前のカメラマン時代にも注目しながらその生涯と功績を紹介いたします。

\* 詳細は当該チラシまたは国立映画アーカイブのホームページをご覧ください。



撮影用クレーンに乗る円谷英二[左](1934年)

### 【常設展】企画展に併設

#### NFAJコレクションでみる 日本映画の歴史

Nihon Eiga: The History of Japanese Film  
From the NFAJ Non-film Collection  
[Captions in Japanese, English, Chinese and Korean]

開室時間=午前11時–午後6時30分(入室は午後6時まで)

料金(常設展・関連企画共通)=一般250円(200円)/大学生130円(60円)/65歳以上・高校生以下及び18歳未満・障害者(付添者は原則1名まで)・国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズは無料

\* ( )内は20名以上の団体料金です。

\* 学生、65歳以上、障害者、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示下さい。

\* 国立映画アーカイブの上映観覧券(鑑賞後の半券可)をご提示いただくと、1回に限り団体料金が適用されます。

NFAJ Digital Gallery  
下記ホームページからお入りください  
<https://www.nfaj.go.jp/online-service/digital-gallery>



### 前売指定席券の購入方法

[Pコード:551-490] \*販売期間にご注意ください!  
毎週火曜日10:00amより翌週(火~日)上映販売  
チケットぴあサイト <https://w.pia.jp/t/nfaj-yukeru19-20/>

セブン-イレブン(店頭のマルチコピー機)で購入

▶ 各回の上映1時間前まで

⇒前売料金に加え、1枚につき発券手数料110円がかかります。

\* チケットぴあ店舗は、6月末日にて全店舗閉店のため、7月以降の取り扱いはありません。

受付電話(0570-02-9999)で購入

▶ 各回の4日前11:59pmまで

⇒前売料金に加え、1枚につき発券手数料110円がかかります。

\* 毎週火・水2:30am–5:30amはシステムメンテナンスのため受付休止となります。

チケットぴあのサイトで購入

▶ 購入時期によってご利用可能な決済方法が異なります。上映当日は、クレジットカードまたはちょコム決済で各回の上映1時間前まで購入が可能です。

⇒前売料金に加え、1枚につき発券手数料110円、また決済方法によって1件につき決済手数料がかかる場合があります。

\* 必ず発券してから来館ください。

\* セブン-イレブンおよび受付電話での購入では座席選択ができません。全体的に散らばるよう自動で割り振られます。

\* 手数料等の詳細や購入方法に関する最新情報については、チケットぴあのサイト<https://t.pia.jp/>をご覧ください。

\* 本前売指定席券購入に、システム利用料はかかりません。

1階受付では、「NFAJニューズレター」(季刊)を販売しています。これは、国立映画アーカイブのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルムアーカイブやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。

国立映画アーカイブは、国際フィルムアーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。

fiaf

FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。



国立映画アーカイブ 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:

東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分  
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分  
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分  
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ:ハローダイヤル050-5541-8600

ホームページ: [www.nfaj.go.jp](http://www.nfaj.go.jp)

Twitter: @NFAJ\_PR Facebook: NFAJPR

Instagram: nationalfilmarchiveofjapan